

第2回関西支部セミナー (CISJ)

インプラント時代における 残存天然歯の保存処置について

講師：白石和仁先生

日時：平成23年4月17日(日)

場所：大阪・梅田スカイビル



中原 幹雄 (滋賀県)

白石和仁先生による「インプラント時代における残存天然歯の保存処置について」の講演に参加しました。10年以上の長期症例を多数見せていただき、残存天然歯をいかに生かすかという思いが大変伝わってきました。

現在、歯科界にはインプラントがあふれ格安インプラントなるものも生まれてきています。その中で、一つの警鐘を鳴らす意味での講演であったのではないかと思います。インプラント埋入本数の多さを謳っている歯科医院もいるなかで、残存天然歯を抜

くことは病気に負けたということ、と講演のなかでありました。

ただインプラントは天然歯を生かすために有用で必要であることを言われており、大変共感を覚えました。実際残らないと思われる歯牙でも保存できる場

合が多く、まずは残す努力をすること、そのためには基本的な資料を確実にとり、確実な診断、基本的な処置を確実にすること。エンド、デブライドメントなどの処置を再度見直し基本的なことに立ち返る認識を深めました。

講義の中で「理論の伴わない行動は暴力であり、行動の伴わない理論は空虚である」とある偉人の言葉を引用し、歯科治療と重ね合わせてもらいました。

学び続け、挑戦し続けることの大切さを改めて感じました。

